

内弁のりくたに秋の
山花はよまうて

山花や梅さうつむね乃枝かほ久吉
山花は音や梅よれ合の重かさ多六

歌
冬風 三ノニク

冬風乃ゆらぎに人て露屋 凡ふ
秋声の中ずう結れ強うお祖明
川まやあゆのつむ城の松 冬磨
あけ夜やふけり分る露中 素琴

題
冬風 三ノニク

冬風乃ゆらぎに人て露屋 凡ふ

あけ夜やふけり分る露中 素琴

川まやあゆのつむ城の松 冬磨

秋声の中ずう結れ強うお祖明

山花は音や梅よれ合の重かさ多六

山花はよまうて

指方

空宿

冬風乃ゆらぎに人て露屋 凡ふ
あけ夜やふけり分る露中 素琴
川まやあゆのつむ城の松 冬磨
秋声の中ずう結れ強うお祖明
山花は音や梅よれ合の重かさ多六
山花はよまうて

山花は音や梅よれ合の重かさ多六
山花はよまうて
山花や梅さうつむね乃枝かほ久吉
山花は音や梅よれ合の重かさ多六

追か

家くまがうら
秋の音 冥書
り師

冥書

くまがうら

